

イレスネ パープルレディ

イレスネのような観葉品種も、実生品種を提供できるようになりました。
名前のように品のあるダークパープル・リーフが特徴。

■ 枝が長く先端が下に向かって垂れていく植物で、コンテナのアクセントや、地際の添葉植材、あるいはそのままグラウンドカバーにもお使いいただけます。

■ 寄せ植えコンテナでは他の植材とよくマッチし、もちろん単品で、バスケット・アイテムなどでもおもしろいでしょう。

■ 地植えすれば、典型的な這性の性質による、グラウンドカバーとして最高のパフォーマンスが期待されます。

■ 一般には日あたりのよい場所でよく生育しますが、少し日が陰る程度のところでもよく育ちます。

■ 花壇定植で草丈 15-20cm、株張りは 90cm-1.2m になります。

イレスネ “パープルレディ”

学名: *Iresine herbstii*

種子粒数の目安: グラムあたり約 1,500 粒

プラグ生産のガイドライン

培地(プラグ苗生産用)

ピート主体の水はけがよい、新しい培地を用いましょう。
pH5.5-6.3 の酸・弱酸性に保ち、初期は EC 値を 0.75 mmhos/cm(1:2 抽出液)にします。

播種

粗めのパーミキュライトで軽く覆土します。

管理温度

発芽適温:	22-24
子葉展開後:	18-22
本葉展開後:	18-21
本葉以後:	16-18

照度

発芽時: 光をあてると発芽が加速されます。
発芽後: 10,000-30,000 ルクスに調整。
成熟期: 温度の上がりすぎを抑制できれば、苗の成熟にともない、限度を 54,000 ルクスで明るめに維持します。

湿度

子葉が展開するまでは相対湿度を 95%に維持します。

土壌の湿潤

幼根が現れるまでは土壌を湿潤気味にして、根の張りが進むにしたがって、乾かしぎみにして行きます。その際、苗を枯らさないように注意しましょう。

肥料

幼根が現れてから、15-0-15 比の肥料を 50-75ppm(窒素値)与え、子葉の生長にしたがって 100-150ppm(窒素値)に上げていきましょう。

PGR(矮化剤)

プラグ生産のステージでは不要です。

鉢上げから出荷までの栽培管理

培地

ピート主体の水はけがよい、(プラグ生産に用いたものと同質の)新しい培地を用いましょう。pH5.5-6.5 の酸・弱酸性に保ち、初期養分は中程度にします。

管理温度

夜間:	16-18
昼間:	18-24

照度

照度が低いと葉色が銅葉のような感じになります。照度が高いほど葉は濃い紫色になりますが、その一方で葉の先が巻いてしまうことがあります。これはイレスネという植物のもっている習性で、障害ではありません。

かん水

水やりの間隔をやや空け、乾かしぎみに管理します。

肥料

週に 1 回程度、各栄養素を含んだ汎用タイプの肥料を 150-200ppm(窒素値)与えましょう。多肥だと、生育が早くなります。肥料切れを起こすと、葉が赤っぽく変色します。

PGR(矮化剤)

概ね、矮化剤を用いなくとも作りやすい植物です。肥料を(とくにアンモニア態窒素を)抑えると、枝の生長も抑制されます。また、乾かしぎみに管理することで十分、徒長を抑えることができます。

ピンチ

とくにピンチをしなくても形よく仕上がります。

平均的な生産期間

播種から鉢上げ(400穴トレイ): 4週

鉢上げから出荷(10cmポット): 5-6週

ポットサイズと鉢上げ後の出荷までのスケジュールは概ね下記のとおりです。ご参照ください。

ポットサイズ	定植本数	出荷までの週数
10-11cmポット	1	5から6週間
30-35cmポット	4-5	6から7週間

管理中の病気や障害

アブラムシが付きやすいので注意が必要です。その他は、とくに特筆すべき報告例はありません。ただし、生産地において発生しやすい病害虫による障害等を考慮に入れた生産管理を推奨します。

PanAmerican Seed

PanAmerican Seed Co.
622 Town Road, West Chicago, Illinois, USA 60185-2698
630 231-1400 Fax: 630 231-3609 www.panamseed.com

© 2001 Ball Horticultural Company Printed In Japan